



液体微量要素複合肥料



バイオスティミュラント

ポテトール[®]

植物由来「光合成促進成分」配合

特許第6741262号・特許第6741263号
(鹿児島大学との共同出願)



POINT
1

収穫物の品質向上に!

マグネシウム・有機酸カルシウム・ホウ素・
他各種微量要素が品質向上に役立ちます。

POINT
2

光合成の促進により収量アップ!

植物由来成分の気孔開度の調節によって
作物の光合成を促進し、増収が期待できます。

POINT
3

環境ストレスを軽減!

トレハロース配合により環境ストレスを軽減します。

1ケース
1ℓ
×
12本入り

農林水産省登録 生第105558号

成分組成

保証成分 (%)			配合成分 (%)				その他
水溶性マンガ	水溶性ほう素	水溶性苦土	カルシウム [Ca]	鉄	銅	亜鉛	
0.20	0.50	2.0	2.75	0.2	0.05	0.2	植物由来成分 トレハロース



OAT アグリオ株式会社

®はOATアグリオ株式会社の登録商標です。



バイオスティミュラント ポテトール®

使用方法

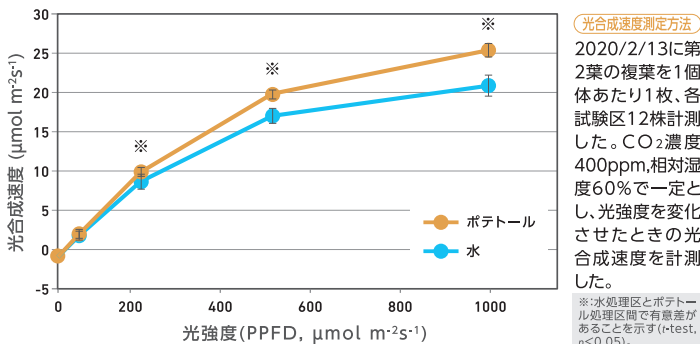
作物	使用時期	目的と効果	希釈倍数(倍)	水量(ℓ/10a)	使用方法
ばれいしょ	塊茎肥大期 (着蕾期～落花期)	光合成促進による増収	500～1000	100～300	葉面散布
かんしょ	収穫60～30日前		500	100～200	

・7～14日間隔での複数回散布を推奨します。

試験事例

ばれいしょ光合成速度測定事例

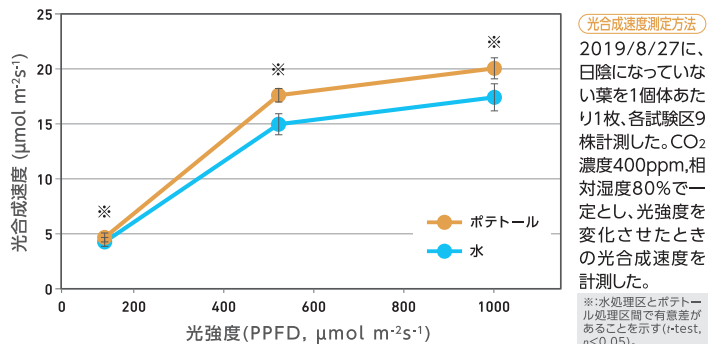
- 試験場所 鹿児島大学農学部附属農場 指宿植物試験場
- 品 種 男爵薯 (2019/11/26 植付)
- 処 理 2020/2/1、2/11 にポテトール 1000 倍液を 200ℓ/10a で葉面散布



結果 ポテトール処理区の光合成速度が有意に向上(9～22%)した。

かんしょ光合成速度測定事例

- 試験場所 鹿児島大学農学部附属農場
- 品 種 べにはるか (2019/4/28 定植)
- 処 理 2019/8/26 にポテトール 1000 倍液を 100ml/株 で葉面散布



結果 ポテトール処理区の光合成速度が有意に向上(7～17%)した。

ばれいしょ収量試験

- 試験場所 徳島県鳴門市
- 品 種 男爵薯 (2019/2/15 植付, 5/1 開花期, 5/31 収穫)
- 区 制 水処理、対照剤A、ポテトールの3区制、1区30株
- 処 理 2019/4/26、5/10、5/17にポテトール1000倍希釈液を300ℓ/10aで葉面散布

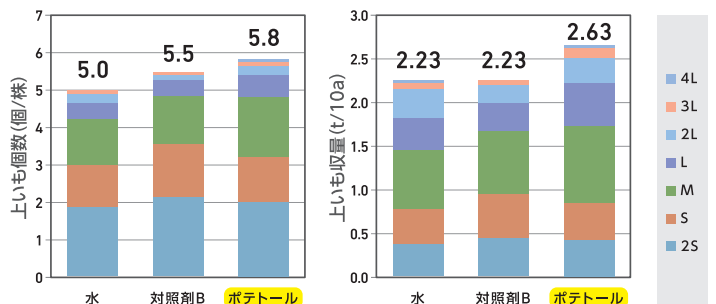
収量調査結果

	規格内収量		規格内収穫個数	
	g/株	水処理区比	個/株	水処理区比
水処理区	780.8	100	13.0	100
対照剤A区	816.5	105	13.8	106
ポテトール区	985.2	126	16.6	128

結果 収穫個数が増加し、26%増収した。

かんしょ収量試験

- 試験場所 徳島県鳴門市
- 品 種 鳴門金時 (2020/5/1 定植, 9/1 収穫)
- 区 制 水処理、対照剤B、ポテトールの3区制、1区50株2連制 全数調査
- 処 理 2020/7/21、7/31にポテトール1000倍液を100ℓ/10aで葉面散布



結果 2回の散布で水処理と比較して上いも個数が15%増、18%増収した。

△ 使用上・保管上の注意

1. アルカリ性資材とは混用しないでください。
2. 肥料以外の用途には使用しないでください。
3. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
4. 高温になる場所(温室など)では沈殿が発生するおそれがありますので、直射日光をさけ、室内の冷暗所で保管してください。
5. 保管中に凍結した場合、融解してご使用いただいても品質に問題はございません。
6. 高温時における日中の使用はさけてください。

7. 希釈液は腐敗しやすいため、その日のうちに使いきってください。
8. 使用後は洗眼やうがいをし、皮ふに付着した場合は洗い流してください。
9. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
10. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
11. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合のみご使用ください。
12. リン酸および硫酸塩の入った肥料との混用は混和性をご確認のうえ使用してください。
13. 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

取り扱い